



中野香余
自民党市議員

男女共同参画プラン
について

問 各施策の進捗状況と今後の取組は。

答 第3次プランでは各施策の目標値を設定している34項目の内12の施策で達成、その他の項目も関係各署と連携し、令和7年度の達成に向け推進していく。

問 女性の活躍推進の取組状況はどうか。

答 女性登用率の現状は、常会長14名、審議会等委員23・2%、市管理職21・3%であり、少しずつ増えている。

問 ワークライフバランスの市男性職員の育児休業の取得状況は。

答 取得状況は、2年度は3・7%だったが、4年度は38・5%である。制度の周知、相談窓口の設置、管理職への研修等を行い職場環境づくりに努めている。

蒲郡のシティ
セールスについて

問 がまごおりじなるプロジェクトの成果について。

答 4年度は「がまごおりじなるカレンダー＆探検マップ」「蒲郡みかんき」「がまごおりじなる授業レシビ」の事業を展開し、今後も継続していきたい。

問 「授業レシビ」における小中学校の取組は。

答 授業レシビ記載の授業と同様な内容の授業は行っている。今後さらなる活用に向けて、シティセールス推進室、教育委員会と連携して取り組んでいきたい。



蒲郡みかんき



松本昌成
公明党市議員

熱中症対策について

問 これまでの取組と、今年度の新たな取組は。

答 暑さ指数に基づき、LINEと安心ひろめーるでの注意喚起をし、併せて熱中症予防のチラシを配布している。新たな取組としては、エアコンの効いた公共施設を、まちの涼み処「涼みん」として7月7日から9月30日まで開放し、現在26か所ある。また、市内の関係13課で構成した蒲郡市熱中症対策部会を新たに設置し、7月27日に開催した。

問 学校現場での施設的な取組について伺う。

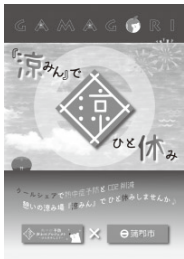
答 体育館の空調については、今定例会で補正予算の承認があれば、整備に向けた企画設計を行い、実施可能と判断されれば来年度から

整備に着手したい。

ICT教育の推進
について

問 熊本市玉名市の学校教育情報化推進計画では、日本教育工学協会における優良校認定を定めている。本市の課題解決にもつながると考えるが、どうか。

答 認定を目指すことは、客観的に本市の取組を評価できるため、内容を確認した上で、申請に向けた研究を進めていきたい。玉名市の取組についてさらに情報を集め、今年度改定の「がまごおりICTアクションプラン」に反映していきたい。



「涼みん」ポスター



来本健作
無党派・日本維新の会

鈴木市長の通信簿
について

問 1期4年の総括は。

答 任期満了を迎える今の時点で70点と自己評価している。

問 蒲郡市の未来について伺う。子育て・教育施策の現状、今後の具体的取組はどうか。

答 子育てでは、家事支援事業、子ども医療費助成範囲の拡大等を行った。また教育では、小中学校の普通教室に空調設備を設置、コミユニティスクールの推進等を行った。今後も引き続き子どもファーストの理念のもと、社会全体で子どもの成長を後押しできるまちづくりを進めていきたい。

問 産業・観光振興についてはどうか。

答 コロナ禍では、影響を受けた事業者への支援に力を入れてきた。

産業では、蒲郡市産業振興ビジョンを策定し、今後はこの将来像を達成すべく、本ビジョンに紐づく様々な施策を展開していくことを想定している。観光では、ロケ誘致や蒲郡市観光協会の法人化等を行った。今後は官民一体でさらにシティセールスを推進していきたい。

その他の質問

- 1 公約の進捗状況
(市民病院、ポートレース蒲郡、東港地区まちづくり、インフラ整備)
- 2 蒲郡市の未来
(合併・連携の方向性、本市の未来)

